

さるかに合戦^{がっせん}

 基礎^{きそ} ④

さるかに合戦^{がっせん}

（日本のむかし話）

かにが、おにぎりをもって歩いていると、さるがかきのたねをもってやってきました。

「このたねとおにぎりを、とりかえっこしよう。」

かにはたねをうけとって、にわにまきました。毎水をやると、やがて大きな木になり、かきの実^みがたくさんになりました。ところが、さるは木にのぼると、あまい実^みを自分だけで食べ、かには青くてかたい実^みをなげつけました。かにがこまっていると、くり、はち、うす、牛のふんが、かにをたすけにきてくれました。

1

かには、何をもって歩いていましたか。

2

かには、さるとおにぎりを何ととりかえましたか。

かきの

3

木にのぼったさるは、どうしましたか。

ア

かにに、あまい実^みをあげた。

イ

あまい実^みを、自分だけで食べた。

ウ

かにを、木の上にのせた。

4

かにをたすけにきたなかに、入っていないものはどれですか。

ア

くり

イ

はち

ウ

からす